

取扱説明書



 藤産業 株式会社
FUJI INDUSTRY .Co.,LTD

〒546-0043 大阪市東住吉区駒川 1-16-31

TEL:06-6719-0190 FAX:06-6713-4611

E-mail : info@st-fuji.co.jp

<https://www.st-fuji.co.jp>

取付に際しての注意事項

1. 熱交換器内にゴミや切り屑が入らないようにして下さい。
2. ハンマーでたたいたり、落下衝撃を与えないようにして下さい。
3. 熱交換器本体に溶接による火花が当たらないようにして下さい。
4. 取り付けに際しては、水平・垂直に取り付けて下さい。
5. 取り付け接続は、ユニオン継手、又は、フランジ継手を使用して下さい。
6. 流体中にゴミ等が混入する恐れがある場合は、前処理をするか、ストレーナ等を設置して下さい。
7. 取付接続は、電食防止の為、絶縁継手を使用して下さい。
8. 取付施工時、無理な締め付けをしないで下さい。
9. 振動のある場合は、防振装置を考慮して下さい。
10. 蒸気配管に際しては、排出不良を起さないように、上部より入り下部よりドレンがスムーズに抜けるようにして下さい。
11. 基本保温施工をして下さい。
12. 使用温度により、配管側に伸縮継手等の設置をして下さい。
13. ガasketの材質は腐食や、流体の温度と圧力に対応したものをご使用下さい。

運 転 要 項

1. 運転前に配管内の砂、石、スケール、シールテープ等の異物を除去して下さい。
2. 1の後、二次側バルブ、一次側バルブを徐々に開いて下さい。
3. 熱交換器及び配管のエアを完全に抜いて下さい。
4. 一次側・二次側の流量、出入口温度、圧力を確認して下さい。
5. 正常値であれば運転を行って下さい。
6. 高温熱源使用の場合は、低温体を完全に通し終えてから徐々に高温側元バルブを開いて下さい。

注 意 事 項

1. 配管取り付けが完全に行われているか確認して下さい。
2. 流量が多くないか確認して下さい。
3. ウォーターハンマーが生じていないか確認して下さい。
4. エアー抜きが完全に行われているか確認して下さい。

以上について不備があれば異常音が発生し、熱交換器を損傷することがあります。

5. 凍結なき様、注意して下さい。
6. 高温にてご使用の場合は、火傷に注意して下さい。
7. 取付時の作業は十分安全を確認し、怪我や事故が起きないように注意して行って下さい。

保管管理について

1. 正常運転時の各流量、温度、圧力は記録し確認しておいて下さい。
2. 熱交換器は金属製です。腐食の原因となる成分が入らないようご使用下さい。
3. 急激な圧力が、かからないようにして下さい。
4. ウォーターハンマー、外的振動がかからないように配慮して下さい。
5. 使用条件は図面、仕様書等に明記されている指示に従って下さい。
なお、指示なき場合は、液体0.5MPa以下、蒸気は0.2MPa以下で使用して下さい。
6. 高温体使用の場合、熱交換器内で蒸発が生じないようにして下さい。
7. 熱交換器内でのスケール発生は伝熱効率を下げたり腐食の原因になりますので成分等に配慮して下さい。(腐食、汚れ等に関しては弊社責任範疇外です。)
8. 汚れ状態により定期的に洗浄する事が必要です。洗浄方法については、付着物等により異なりますが、清水による逆洗浄、洗剤、薬品、エアー等の洗浄方法があります。
9. 使用状況により異なりますが、必ず必要に応じた定期点検を行って下さい。